学校番号	211

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書道Ⅱ」　（教育出版）						
副教材等	新版　応用ペン習字（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰでの学習に続き、草書・隷書・調和体・刻字・仮名を学びます。
・創作活動が増え、自分らしい表現方法を考え、技術を磨き、幅広い書表現をすることで制作の楽しさを知りましょう。
・１年では篆刻で石に刻しましたが、２年では木に刻し、書プラス刀意の表現の面白さを体験します。
・作品を効果的に展示する感性を発揮し、３学期の二科展で発表し、作品を鑑賞します。
・単元ごとの目標設定と振り返り(自己評価)を行い、主体的な取り組みを支援します。

2　学習の到達目標

・幅広い書道の活動を通して、表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身につけるようにする。
・生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに書写能力の向上を図り、書の伝統と文化について理解を深める。
・書に関する見方・考え方を働かせ、書を身近で鑑賞し楽しむ心を育てる。
・主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、書のみに限らず、芸術を鑑賞し、楽しみ感動する感性を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	「書道Ⅰ」で学習した書道の三分野それぞれの、線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めていく。基礎的な書の技能を向上させ意図に応じて効果的な書表現の工夫をしている。	漢字の古典や仮名の古筆、創造された作品の価値や根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義にについて考える。書のよさや美しさを生かし、感性や想像力を働かせて、自らの意図で創意工夫し、自分らしく表現しようとしている。	芸術科書道の学習に関心をもち、創造的な活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。書の伝統と文化に関心を持って、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	提出課題 作品 制作活動の様子	制作活動の様子 ワークシート 制作の様子 作品のアイデア 提出作品	制作活動の様子 学習態度 ワークシート 振り返りシート 作品の練習量 硬筆ノート

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4 学習の活動

学期	項目	学習項目	評価の観点	評価方法		
				知 a	思 b	主 c
1学期	漢字の書	個性豊かな草書 ・五書体の一つとしての草書を学習する。 ・古典を臨書し、その個性を体験する。 ・草書を一字書作品にしてみる。 リズミカルな隷書 ・隷書の歴史を知り、運筆・用筆を学ぶ。 ・隷書の書風の違いを知り、臨書する。	a 文字の特徴を理解している。 ac 草書の筆使いを学び、その流動美に関心を持ち意欲的に取り組もうとしている。 b 用筆や運筆に工夫をし、古典作品の特色を効果的に表現しようとしているか。 a 草書の技能を生かし、意図に基づいて表現している。 b 草書の個性や書風を理解しその良さや美しさを味わっている。 c 隷書の歴史に関心を持ち、その筆使いやリズムの表現に意欲的に取り組んでいる。 ab 隷書の美を理解し、逆筆等、運筆に工夫をしている。 ab 逆筆・波磔・リズムを理解し表現しようとしている。 b 隷書の美しさを味わっている。	作品 ワークシート	作品 プリント 鑑賞レポート	作品 振り返りシート 授業態度 観察
夏休み課題	硬筆実用の書	・ペン字練習帳 ノートを進める。 ・硬筆展作品の制作 硬筆展に出品する作品を書いてみる。	ac 手書き文字の良さを理解し、美しく書く努力をしている。 ab 鉛筆やペンの色、太さ、文字の大きさなど効果的な表現を工夫している。 b 手書き文字の基本点画を効果的に美しく表現出来ている。 b 文字の形や大きさ、構成などを余白の美とともに鑑賞できている。	硬筆展用途中作品	硬筆展用途中作品	練習の様子 内容の途中点検（ノート

2 学 期	篆 刻 ・ 刻 字	刻字を楽しもう ・刻字の歴史を知り、作品資料を見て、刻したい文字や文章を考える。 ・草稿を作る。 ・籠字を取り、陽刻・陰刻を選び、ノミや彫刻刀の使い方を学び、刻す。 ・着色し鑑賞して楽しむ。	c 書の多様な表現に興味を持ち、様々な資料作品を見て、意欲を高めている。 b 出来上がりをイメージして文字や彫り、構図、着色などのデザインを工夫している。 a 効果的な作品を制作するための書や彫りの技能を身につけている。 b 書の良さを彫りで表現し、ノミ跡の面白さや着色の工夫を楽しみ、飾って楽しむ喜びを味わっている。	作品 ワークシート	作品 プリント 鑑賞レポート	作品 振り返りシート 授業態度 観察
	漢字仮名交じりの書	楽しい調和体 ・短文で調和体の様々な表現法を体験する。 ・作品資料を見、自分が書きたい短文を考える。 ・効果的な表現のための用紙を工夫し、制作する。 ・書く用具、墨色、構成、書風色彩などを考えて表現する。	c 作品の制作に主体的取り組もうとしている。 ab 調和体の表現に興味を持ち、積極的に課題に取り組み、構想を練ている。 b 自分の言葉の効果的な表現のため、紙・墨・絵の具等、道具を工夫し、発想力を高めている。 b これまで学んだ、書の技法を生かし、さらに工夫を重ね効果的な表現が出来ている。 b 漢字と仮名の調和した字形，文字の大きさ全体の構成について考え構想し，工夫している。 c 出来上がり作品をラミネート。 c 作品紹介の効果的なコメント用紙を書いている。	作品 ワークシート	作品 プリント 鑑賞レポート	作品 振り返りシート 授業態度 観察
3 学 期	仮 名	仮名作品を書こう ・1年で学んだ仮名の基本を元に短冊、色紙、料紙半紙などに作品を書く。 ・俳句を使ってかな作品を制作する。	a 散らし書きの美しさを知り美しい紙との調和に意欲的に取り組んでいる。 b 散らし方や、墨つぎ、連綿、変態仮名の使い方に工夫している。 墨の濃淡、潤滑、流れに気を配った表現に取り組んでいる。 ab 散らし書きの調和の美を理解し、墨色の変化の美しさを味わっている。	作品	作品 プリント	作品 授業態度 振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度